


よりよい

自主防災活動

へ向けて――

広島県自主防災組織活動事例

An aerial photograph showing a river valley. The river is brown and turbulent, indicating a large volume of sediment. The surrounding hills are covered in dense green forest, but several large areas of brown earth are visible, indicating landslides or erosion. In the lower part of the image, a road runs alongside the river, with several vehicles and a building visible. The overall scene depicts a significant natural disaster impact on a rural area.

近年、地震や台風、豪雨などで、多くの尊い命や、貴重な財産が失われています。

県や市町をはじめとする各防災機関は、災害に備えてさまざまな対策を実施していますが、大規模な災害が発生した場合、その被害を最小限に食い止めるためには、地域のみなさんによる防災活動が不可欠です。

「自主防災組織」は、そのような地域の活動を効果的に行うための組織です。

今、「自主防災組織」の活動への積極的な取組みが求められています。

よりよい 自主防災活動 へ向けて

広島県自主防災組織活動事例

目次 Contents



はじめに	1
自主防災組織の活動	3
① 自主防災組織が、平常時に行う活動	
② 自主防災組織が、災害時に行う活動	
活動の輪を広げる、地域活動との連携	7
自主防災組織の活動事例	8
災害の経験 そして、次のステップへ 口田学区自主防災会連合会（広島市安佐北区）	9
世代を越えて取り組む自主防災活動 警固屋地区自主防災連合会（呉市）	11
「ふるさとづくりネットワーク」による自主防災 小坂町防災会（三原市）	13
「向こう三軒両隣」助け合いの仕組みづくり 西学区自主防災協議会（福山市）	15
長期計画に基づいた取り組み 四季が丘地自主防災連絡協議会（廿日市市）	17
楽しく学べる防災ツール	19
広島県は、頑張る自主防災組織を応援します。	20

はじめに

自主防災組織の役割と意義

「自分たちの地域は、
自分たちで守る。」

大 規模な災害が発生した場合、消防署や消防団、警察などの防災機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。このような時、地域の住民が一致協力して、組織的に対応することで、有効な対策をとることができます。

自主防災組織は、「**自分たちの地域は、自分たちで守る。**」という自覚のもと、自主的に協力して防災活動を行う組織です。



「隣保協働」の精神と、 自主防災組織

隣

近所の家々や人々が役割を分担しながら力と心を

合わせて助け合うことを「隣保協働」といいます。

「隣保」とは、隣近所との日常的な繋がりを言い、「協働」とは、役割を分担しながら、力を合わせて事に当たることをいいます。

自主防災組織には、災害に対して地域や近隣で協力し合える組織として、この隣保協働の精神に基づく組織作りと活動が求められます。

特に、災害によって地域が孤立した場合などは、こうした普段からの生活環境を共有している住民同士が助け合うことが、被害の軽減のために最も重要なこととなります。

2004年（平成16年）に発生した、新潟県中越地震における旧山古志村（現長岡市）で、災害発生当日にすべての住民の安否が確認されたことは、こうした隣保協働の精神が機能した一つの例と言えます。



自主防災組織

自主防災組織が、

平常時に行う活動

自主防災組織は、平常時には、地域住民に対する防災知識の普及・啓発をはじめ、地域の災害危険などの把握、各種防災訓練の実施などを行います。

の活動①

図上訓練 (DIG)

”Disaster Imagination Game”の頭文字をとった、災害シミュレーション訓練です。地域の地図へ、危険地域や避難施設と経路、防災に役立つ施設などを落とし込むことで、自分たちが住む地域の特性が見えてきます。

